

震災に学ぶ社会科学

—東日本大震災学術調査 シンポジウム—

平成25年5月26日(日) 10:00–18:00 (開場 9:00)

- ◆会場◆ トラストシティカンファレンス・仙台
(仙台市青葉区一番町1-9-1 仙台トラストタワー5階)
- ◆定員◆ 150名(先着順) 参加費無料
- ◆主催◆ 独立行政法人日本学術振興会
- ◆後援◆ 文部科学省(予定)/復興庁(予定)/宮城県(予定)

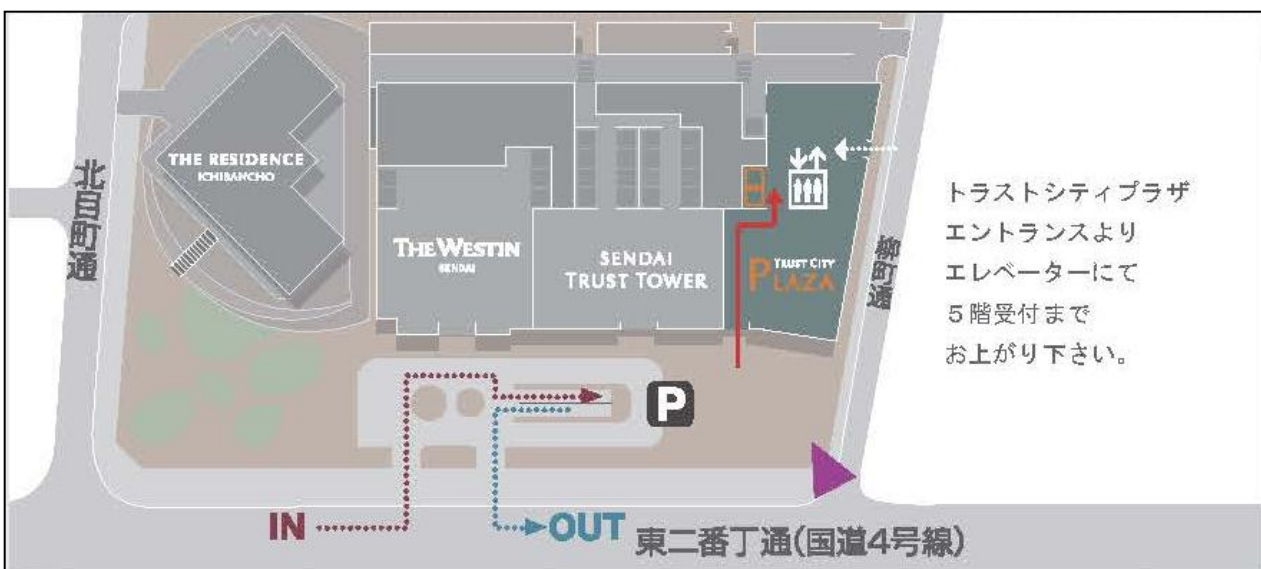
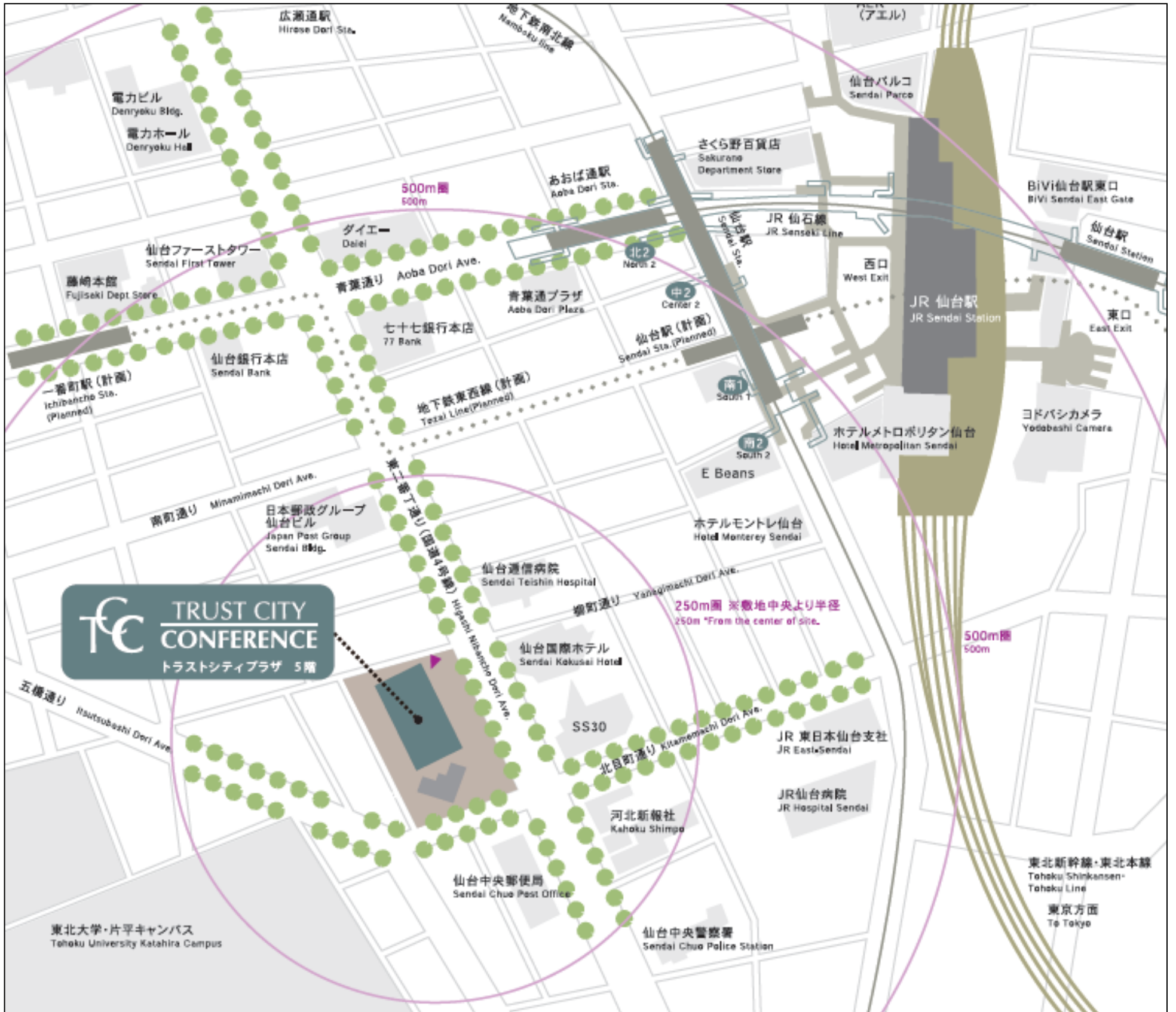
東日本大震災は日本史上未曾有のものでありました。被災地住民も粘り強く対応されています。政府も、震災の当日から、種々の法律制定や資金供給による生活支援や復旧の努力を行いましたし、国内外の支援もありました。しかし、丸二年たった今も、復興の方向については、なお模索中の部分が多く、新しい生活のイメージに関して、地域により人により様々であります。記録や事実を求めるわれわれの視点も多様です。

日本学術振興会では、震災の記録を収集し、これを分析すること、及びそこから得られた知見を次世代に伝えるため、人文・社会科学的視点から8つの調査研究班を設置して学術調査を行っております。調査はまだ半ばですが、この段階で、各班が行ってきた調査・観察についてシンポジウムを通じて意見の交換をし、またシンポジウムに参集するすべての方々との対話を通じて、さらに一步を進めるのがよいと判断し、今回のシンポジウムを開催いたします。

プログラム

時間	プログラム	発表者
10:00-10:10	開会の辞	村松 岐夫(京都大学名誉教授)
10:10-10:55	基調講演	岡本 全勝(復興庁統括官)
各調査研究班からの報告		
I 10:55-11:15	巨大複合災害における危機管理と政治主体	辻中 豊(筑波大学教授)
II 11:15-11:35	東日本大震災におけるリーダーシップと組織戦略	遠藤 哲哉(青森公立大学教授)
III 11:35-11:55	原子力安全規制の「失敗」	城山 英明(東京大学政策ビジョン研究センター長)
IV 11:55-12:15	震災前の社会経済状況に照らした震災復興のあり方	齊藤 誠(一橋大学教授)
12:15-13:05	休憩	
V 13:05-13:25	東日本大震災・原発事故に伴う被害実態の包括的把握	植田 和弘(京都大学経済学研究科長)
VI 13:25-13:45	地域教育システムの復旧・復興過程の記録と検証	雲尾 周(新潟大学准教授)
VII 13:45-14:05	東日本大震災時の日米協力と日米同盟への影響	アンドレア プレッセーロ(上智大学客員研究員) 道下 徳成(政策研究大学院大学准教授)
VIII 14:05-14:25	震災時・震災後の情報メディア環境と受け手	池田 謙一(同志社大学教授)
14:25-14:35	休憩	
14:35-16:35	パネルディスカッション	司会:村松 岐夫(京都大学名誉教授) 五百旗頭 真(ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長)
16:35-16:45	休憩	
16:45-17:45	フロアとの対話	司会:恒川 恵市(政策研究大学院大学副学長)
17:45-18:00	閉会の辞	五百旗頭 真(ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長)

会場 トラストシティカンファレンス・仙台



◆アクセス

- ・JR線
仙台駅西口より徒歩約9分
仙石線あおば通駅2番出口より徒歩約8分
- ・地下鉄
南北線仙台駅南2番出口より徒歩6分

参加登録 ※ <http://www.jsps.go.jp/j-gakujutsuchosa/index.html>にて参加登録票のダウンロードができます。

参加に際して事前登録を受け付けます。参加希望の方は、参加登録票を FAX(03-3263-1716)又はメール(gakujutsuchosa@jsps.go.jp)により送付してください。後日、入場整理番号をFAX又はメールでお送りします。(先着順とし、定員になり次第締め切りとさせていただきます。)また、当日参加も受け付けますが、定員を超える場合は入場をお断りさせていただきます。

お問い合わせ (独)日本学術振興会研究事業部研究事業課企画係 TEL:03-3263-4645 e-mail: gakujutsuchosa@jsps.go.jp